

七月「緩和ケア入門」

七月31日



日赤医療センター緩和ケア科秋山修先生

治療不可能な病の人が家族と共に死の瞬間まで居心地よい場所です。最大の「〇」をさせるようにする。みとりが重要な仕事。

自宅を望ましいと思う人は多いが、長期の24時間の医療管理、食事、排せつは大変で、病院がそれを代る。知られるようになって希望者が増えた。この辺だと衛生病院桜町、野村病院がやっている。日赤は1995年から取り組んで、よい結果を得ている。最後も自分らしくという人が増えている。(記録・資料は九浦の家にあります)

八月「議員と懇談」桑津昇太郎氏 22日

九月「自分たちで出来る防災」26日

命あつての物だね。市防災課の水野氏の具体的な提案。避難所より自宅待機など。

アジアを知ろう台湾ー 八月3日

はじめての台湾・美麗島Formosa

講師 蔡易達氏

さつまいものような形をした台湾は九州より少し小さい島です。大航海時代、ポルトガル船が台湾沖を通航中に見つけ、美しい島フォルモサと名付けました。台湾はその後現代に至るまで、外来政権に支配され続けてきました。

オランダ統治からスペイン統治、そして「国性爺合戦」で知られる鄭成功の統治。国性爺は明の皇

帝が鄭成功を謁見した際、朱という国姓を賜ったのが由来です。しかしそれらも非常に狭い範囲を統治したに過ぎず、南北に連なる高い山々が壁となり、民族のまとまりも統治も難しかったのです。

その後、清の統治22年を経て日本の統治が敗戦まで50年間続きます。抵抗叛乱も多く、大きなものでは西来庵事件、霧社事件があります。第四代総督の時の民政長官後藤新平は厳しい取り締まりの一方、現場を徹底的に調査し政策を立て近代化を進めました。インフラ、教育にも成果をあげました。またダムを建設した八田与一、米を改良し蓬莱米を作った磯永吉は人々に今でも尊敬されています。中国から蒋介石の国民党がきて統治50年。現在は人口の98%を漢人が占め、原住民は2%に過ぎなくなりました。当初、インフレ、食糧の欠乏と、社会は混乱し、大歓迎だったムードは失望に変わり、二二八事件は全島で起こった蜂起です。政府による鎮圧、殺戮は大きな傷を残しました。その後、38年間も戒厳令が布かれました。

中国語が話せなくて登用されないなど台湾人への差別もあり、教科書の歴史も中国の歴史で台湾の歴史はありませんでした。台湾の歴史を編む動きが起り「台湾を知ることができました」。

歴史から台湾という国について考えさせられ、72名の参加に関心の高さを感じました。蔡易達さんは台湾を研究するため来日。十数年武蔵野に住まれました。

(蔡氏の翻訳「台湾を知る」を九浦に寄贈していただきました)

吉東・南・本宿3コミセンネット
むさしの地区外環問題協議会

九月28日(土)14時より、南コミセンで、柴崎直朗福島大共生システム理工学類教授による「外環トンネルの地下水への影響」大深度での水の勉強会を行いました。

外環トンネルは武蔵野台地の帯水層を横切ります。地下水盆とか水文地質学という分野。難しいけれど興味深く新鮮でした。20年の東京オリンピック開催が決まり、外環の強行推進に繋がるのを恐れます。

吉東・南・本宿3コミセンネット

市議会議員との懇談会 八月31日

本宿コミセンで、市議との懇談会。出席は小美濃 木崎・桑津・川名 西園寺 齊藤 しば・前田・内山・山本あ・山本(ひ)の諸議員。事前質問票に欠席の深田議員回答。懇談は、ゴミ、公園の整備、トイレの要望。前職教師を人材センター登録で補習に。自由大学の月謝高い。市の自立支援、若者支援弱い。中・高中退者対策。発達障害支援。外環に対する意見。住みたい町 No.1の理由は？など多岐にわたりました。

九浦の庭の生きもの探しー秋の虫

蜘蛛おじさん小峰光弘氏と虫探し。メタリックシルバーの甲虫やウツキコモリグモの幼態、バッタなど25種類以上を採取。

第2回「台湾エンタメの世界へようこそ」

台湾映画、ドラマの魅力。テレサテン、歐陽菲菲、ジュディ・オングから一青窈など、日台の歌謡交流史など。十月6日、台湾影視研究所主宰稲見公

仁子さんによる台湾芸能入門講座でした。

東コミ局
センターから
お知らせ
13.10.15

▼九浦の庭の築山に植えた身延山のしだれ桜は、根付かず残念でした。
▼本宿地区盆踊り、九浦の家は今年も枝豆と缶ビール

▼市の防災計画で、コミニティセンターは災害時に地域の支えあいステーションとなることが期待されています。少しずつ、出来ることを話し合っています。徒歩帰宅者のトイレや水の提供、その場所である誘導表示をどうするかなど。

▼運営委員必携コミセン用語集完成。「吉祥寺東コミニティセンター運営委員ハンドブック」

▼八月22日初級囲碁教室の大会に30名。大会は嫌という会員さんもいます。

▼入門囲碁教室も人気が出で24名に。講師がほぼ毎日ロビーで補習してます。

▼様々な式や会合の時に使うテーブルクロスを購入しました。

▼今秋の国体用に育てたブルーサルビア。園芸の達人がいるので、九浦の家では見事に育ち、大会会場に運ばれました。

▼三遊亭橋也、上方落語立川雲水さんは二人とも他に席を移され、九月から「春風亭朝也吉祥寺東落語会」を始めました。

18日14時から子ほめと竹の水仙。

▼ホールのピアノを個人練習に貸し出しします。当日申し込み。午前と午後のみです。詳しいことは窓口にお尋ねください。

▼男子トイレ併設の誰でもトイレ、施設の不具合なおりました。

▼入口の竹垣エコンカバーが破損。修理予定で新素材を物色中です。

▼パソコン不調以来途絶えているHPを今懸命にアップに向け制作中です。

街づくりができる

九浦の家だより100号に
ささやかに祝いのお会 九月24日



昔のこと、配布のこと、30年分の話は尽きません。

美大通り水の壁画プロムナード

東町でご愛読いただいている「コミュニティ通信」九浦の家だより、創刊1982年十一月以来、今年七月で発刊100号になりました。

吉祥寺東コミュニティセンター（当時センターが少なく、東町というより吉祥寺の東部をカバーするという意味で、吉祥寺東）九浦の家は、1978年開設なので、開館4年後の発刊です。

当時、今のヨドバシの東側は、急激な開発の隙間で、羽田空港から外国人がタクシーに「近鉄裏」と指名するほどの、新宿歌舞伎町級のピンク街で、きらめくネオンと電飾、客引きと騒音、吐しゃ物、立ち小便。しかも、あまりに急ごしらえの歓楽街は、隣も奥も普通のお家で、児童生徒も多く、住民が悲鳴をあげました。あまつさえ、

ストリップ劇場進出というので、本宿小と第三中学の学区区だったため、まざろが、そして青少協が声をあげ、町会と共に反対運動を始めました。ストリップ劇場は止めたものの、その後もピンク営業は激しく、更に、既存の2ホテルに加えラブホテルの計画が続々とやってきました。

82年、遂にたまりかねた住民は「風俗産業公害に関する直接請求」を行います。東コミセン運営委員会は、この運動の条文作りに協力しました。そして、一万を超える署名をもらった直接請求の不採択になった結果を、どう皆さんに報告するかという時、思い切つてコミュニティ通信を発行しよう、それで伝えようと決意しました。

ですから、その時点で、全戸配布、センターのお知らせでなく、地域での問題を知ってもらうという、基本の考え方と視点が決まりました。

第1号は、九浦の家生みの親である和真人さんの巻頭言、開館に至るまで既に100回重ねていた「吉祥寺東コミュニティのつどいについて」、阿部洋子代表の協議会の解説、直接請求の顛末、街づくりとは何かという思いの吐露と、B5判4頁は思い満載で出発しました。今は転出されましたが、小池牧子さんと川村三郎さんという編集および印刷のプロがいたことが大きな力となっています。活字は9ポ。小さ過ぎ不評で、現在A4判です。

配布が問題でした。運営委員総動員でも足りず、友人に頼み込んで、東町全域を一人100部から200部配つてもらう態勢を整えました。30年以上続

けて配布している協力が何人もおいでです。配布あつてこそ通信。お祝いの会は、発行人の運営委員と配布協力員が、昔話で盛り上がりました。

東町ニュースが最も読まれているようです。外出し難くなった老婦人たちに、街のそこそこがどう変わったかという話が喜ばれたのが、ニュースのきっかけでした。振り返ると、東町という地域内に関するほとんどの事柄のアーカイブになっています。感想が励みになります。ご意見をどうぞ。

科学実験シヨトと 万華鏡作り 出雲科学館館長曾我部国久さん

九月28日午後

一年生二年生がほとんどの、48名の子どもたちが、信じられないほどの集中力で3時間、難しい作業を何回もやり直しながら、自分の万華鏡を作り上げました。時間が延び、迎えの方を大勢お待たせしましたが、子どもたちの成果と大満足でお許しください。



はい、いいよ。鏡の具合を見てもらうために押しくら。

◎八月17・18両日の本宿盆踊りは、天候にも恵まれ、二日間2300の参加者。子連れ、外国の方も多く、ますますの盛況です。今年太鼓の櫓を小型化し、提灯と電線を全部新調しました。本宿小先生チームが八丈島のアジメソナカツを出店。



◎九月8日東部福祉の会フエスティバル。
◎末日聖徒教会南の西友駐輪場をフック式有料としたら、買い物客の自転車用にて。

◎くるかめ西にAquaが八月30日オープン。雑貨服アクセサリーなど

◆東町の事件（十月上旬まで）八月侵入盗無施錠1車上狙い3。八月夜西荻駅から東町四丁目への通りで痴漢お尻タッチ。

◆七月十月東町人身事故一丁目2件（車×車1車×自転車1）三丁目八月月上旬1（自転車×車 自転車信号無視）。八月6日つるかめらんど前で居眠り運転車に工事車両整理員が挟まれ死亡。十月6日モルモン教会前の通りで、車×人の事故。救急車で。同日、富士家具前で酔っ払いに倒れかかられた自転車、通行者に倒れかかす。

物件事故一丁目16件（車×車11）二丁目2件（車×車1車×自転車）三丁目1件（車×人）四丁目2件（車×物）

◆東町火災 八月11日三丁目ガソリン小売

◎十月6日武蔵野市長選、邑上市長三選。

全市投票率41.29%前回を下回る。三中投票所40.29% 本宿小39.29% 低投票率。

のは、そこで生活する私たちです。

一丁目合流改善施設 分水人孔工事は昼間に

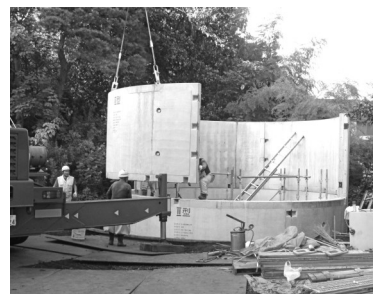
雨で下水管内の水位が上がった時、下流の処理場へ流すものと、貯留槽へ取り込むものを分水する装置を、美大通り出口から西へ30m、女子大通りの南半分を約掘り下げてつくりまします。十一月月上旬に予定された、準備で路面を掘る70センチを越える工事と、下旬の鋼矢板打設工事は、女子大通りの車の通行を考えた夜間予定でした。しかし、せめて睡眠を保証してほしいという近隣の要望で、昼間の工事に変更されました。土を運び出すダンプの運行調整など大変ではありますが、児童生徒の登下校時間帯は外し、車の出入りには保安員がつき、安全面の配慮は約束されています。

(仮称)吉祥寺東町一丁目公園合流改善施設の上部の、公園化計画ワークショップ第5回が七月29日に終了。最終案に向け基本プランを検討しました。この検討も反映されたものが、基本プランとなり、パブリックコメントが実施されます。中央に大きな樹、全体ははらっぱの計画です。美大通りのプール跡地も公園化されます。十一月1日号市報にプランが掲載される予定です。

吉祥寺の杜宮本小路公園

三月の最終ワークショップで基本プランが決まり、パブリックコメントには27の意見がありました(市HP参照)。公園は詳細設計中で、工事開始は十

二月頃、来年四月のオープン予定。先行して、100tの貯水槽工事中ですが、地上で組み立てた水槽の中の土を掘って



いくと自分の重さで沈んでいきます。

東町二丁目 道路問題

十二月住民集会後、署名して下さった皆さんへの結果報告について、五月3日ワーキンググループの集まり以降、文案をメールのやり取りで検討していますが、まだ微調整中です。

外環地上部街路問題

七月5日19時より第15回の話し合いの会が商工会館で、また、九月10日19時より第16回「外環地上部街路に関する話し合いの会」が武蔵野公会堂でありました。国の構成員欠席、都の担当課長はまた代りました。

のびのびになっていた浜本構成員の「外環地上部街路についての主張」と黒木構成員の「防災の意見」の説明は済みましたが、まだ市民側意見が2つ先送りされており、浜本意見への各構成員の意見表明は次回に繰り越しとなり、都の整備効果データの説明にも入れませんでした。武蔵野市にとって「その2地上部街路」が必要かという本題には入りませんでした。次の第17回に都側が言う「必要性—整備効果と影響」に入る予定です。

九月2日(月)19時から、国交省は武蔵野市民と杉並区民対象の「大深度地下使用認可申請に向けた東京外郭環状道路の説明会」を本宿小で開催。パワポイントによるお決まりの説明が長く、質問は数人で強制的に打ち切られました。また、13日(金)16時〜20時、同じく本宿小で「外郭環状道路オープンハウス」が開かれました。大深度予定の本線について、事業概要、沿線予定地地図、模型が展示され、来場者へ個別対応で情報を提供し説明する会でもありました。

このオープンハウスに並行して、18時半から20時15分まで、世田谷調布・三鷹・武蔵野・杉並・練馬の6区市関係住民による外環ネット「わたしたちの地域課題検討会」報告書実行委員会が、昨年八月21日参議院会館院内集会の際、国交省にだした質問書への回答を、国道事務所が行う機会が、本宿小の別室でありました。住民にとって回答と納得できる情報はなく、さらに懇談会を要望しています。これらの資料は、九浦の家ロビー正面の棚にあります。

道路通称名の設定に係る要望

吉祥寺東コミュニティ協議会は、城内の通りの通称をつけようと地域に呼び掛けてきました。すでに呼称が定着した所につき、九月20日、本宿コミセン・青少協本宿地区委員会・本宿小PTA・第三中PTAと共に、市に対して、市道二二号線を「本宿小通り」市道二二九号線を「三中通り」にしたいだけ

東町(吉祥寺東部)ニュース

- ◎今年もモクセイの香りが溢れる東町です。東町住民でもあるワドカン脚本の「あまちゃん」終了で、大勢あまロス状態です。
- ◎燕、3羽ずつ八月巣立ちました。
- ◎ハクビシンが九月23日、二丁目の変電所近くのお家の庭に現れました。
- ◎十月になっても真夏日がつづく変な気候に、東町公園の百日紅のうどんこ病が酷く枯枝が目立ちます。
- ◎四軒寺交差点すいすいプランにかかる「巴里院」が九月1日で閉店。営業76年。
- ◎女子大通り多奈可亭八月末日で閉店。
- ◎吉祥寺図書館西向いの「花菜」、七月末19年で閉店。同所にフローズニューヨークの店が十月6日開店。
- ◎十月4日九浦の家から西へ抜ける通りの樺の大木を伐採。大きな切り株です。
- ◎女子大通り木曾路跡に、十一月23日ひだまり動物病院開院
- ◎吉祥寺通り11ブティックsao:riは、「ヘアサロン」に。リフォームは続けます。
- ◎同じ通り沿い少し南にギターの調整とリフレット「FREAKY STYLE」
- ◎武蔵野美術学園の先生方による水の壁画プロムナードが、美大通り下水道改善施設事務所(プール跡地)のフェンスに。
- ◎本宿コミュニティセンターが、十月初旬10日間閉館し、空調設備を総入れ替え。
- ◎七月6日九浦の家の北隣の前の道路面に小さな穴が見つかり、駐在さんが対応しました。皆が踏んでいるうちに穴は大きくなり、掘ったところ、排水管からの漏水で周りの土砂が流れ大きな空洞ができていました。



吉祥寺東コミュニティ通信

九浦の家づくり

●NO. 101 13.10.15
吉祥寺東コミュニティ協議会
● 武蔵野市吉祥寺東町
1-12-6
吉祥寺東コミュニティ
センター(九浦の家)
●電話0422-21-4141

東町の人

「満ち溢れる酒場」
をめぐりして

闇太郎店主

山田康典さん

東町の五日市街道沿いに「闇太郎」という小さな居酒屋がある。昨年の十二月に、開店40周年を迎えた。この40年間、店のたたずまいが、全く変わっていない。

「40年前、五日市街道のこの辺りは、暗くさびしいところで、酒場に適した場所ではなかった。だからまず、目立たなければと思ったし、同時に大衆的で安心できる店であることも表現したいと思った。闇に浮かぶ大きな赤提灯、大きな壁看板、「気楽に飲める酒処、闇太郎」と大書したテント、剣菱の飾り樽、白地ののれん、料理メニューと値段の一覧表等これら全てで構成しているたたずまいこそ、闇太郎の真骨頂なんです」

「闇太郎という名も、三十歳で脱サラし

て、面白いことをやりたい、もつと自由な意識で、遊びの精神ももって、仕事や人生をやつていきたいという、挑戦の意味もこめてつけた名前です。」

「その心意気に応えてくれた常連のお客さんがお店を支えてくれたのでしょうか。」

「勿論そうです。でも、何年やつていようと、その日その日のお客さんが中心で、絶えず常連づくりをやつて新陳代謝していかなければ、すぐ駄目になります」

地元にあつた古い店や個性的で素晴らしい店も、アツという間に無くなるのを見て来た山田さんには「一寸先は闇」という思いが常にあるのでしょうか。

この40年間変わらぬ「闇太郎」にも一回だけ存亡の危機があつた。

「店の立ち退き抗争が6年間ありました。結果的には裁判によつて、35年間この地で生きてきた闇太郎の存在の力が、金もうけだけの相手に勝ちました。その間「闇太郎存続」の署名運動を行った際、2079名の方が賛同してくれ、大きな感動を味わいました。」

今後も五日市街道のこの地で、赤提灯の灯を灯し続けていく決意を新たにしたいものです」
「色々な文化人の常連がたくさん来られるそうですね。」

「常連の中に漫画家や作家、音楽家、映画や演劇等文化人も多いです。でも彼らのサロンみたいにするつもりはありません。普通の若者もいて、カウンターで飲んで飲めるような幅の広い店でありたいと思つています」

「それにしても、吉祥寺からの文化の発信に、闇太郎を拠点としたネットワークが大きく貢献しているのも事実です。」

「店を始めた時、安い値段で実質飲み食いできる店であると同時に、料理だけで勝負というより、カウンターを通してお客さんと交わりながら、面白い空間を作つていきたいという意識もありました。こちらとお客さんが協力し合つて、丁度、厨房と客席の中間、カウンターあたりで演劇空間が成り立つてる感じかな。学生時代にプレヒト演劇を上演したので、共通したものを感じますね」



記念誌掲載切り絵「闇さん」久住昌之(2012)より

予告

- ◇ついで(木曜日)
十月31日(木) 19時〜地元議員との懇談 小美濃安弘議員
- 十一月28日19時〜歴史資料館開設準備室長 田川さんに聞く
- 十二月26日19時〜今年を振り返つて
- ◇吉祥寺東落語会 春風亭朝也
十一月20日14時 木戸銭五百円
- ◇九浦フリーマーケット
十一月3日(日) 10時半〜15時
- ◇アジアを知ろう台湾十一月10日14時
「二つの故宮をめぐって」
野島剛 元朝日新聞台北支局長
- ◇三つ中くぬぎ祭 十月25日・26日
本宿小はとの子発表会 十一月15・16日
- ◇小倉百人一首かるた大会十一月23日
- ◇青少協フレンドパーク 十一月24日
10時半〜本宿小体育館
- ◇17回「地上部街路に関する話し合いの会」十一月7日(木) 商工会館

「ここに、闇太郎開店40周年記念誌「満ち溢れる酒場」という冊子があります。」

寄稿者は「闇太郎」を愛するという共通の心で結ばれたお客さんたち。江口寿史、宮藤官九郎、大友克洋、久住昌之、山田詠美、川上弘美等そうそうたるメンバーが名を連ねていますね。

「有難いことに、皆さん時々お顔を出し、闇太郎を大事にしてくれています」

「深夜のお仕事、体を大切にしてください。自転車通勤できる南町に住んでいて、職住近接の恵まれた環境に感謝です」

今夜も、五日市街道には、「闇太郎」の赤提灯が灯つています。
(池田茂)